『カシオ』と南国市・・・②

藤本茂樹（田村）

会社が進出するに当たって、一番に考えることは利益が上がるかどうかであり、しかも効率がよくなければなりません。義理人情やおもしろ半分では絶対にないはずです。

高知県は全国有数の地価の高い所であり、交通の便が悪く、労働力の質も上等ではないでしょう。これらは、私の考えですから間違っていれば幸いです。

これらのことを考えると、このたび『カシオ計算機』が比江地区に土地を購入したことに驚いた人も少なくなかったのではないでしょうか。

新聞を読んで私は、またまた胸が熱くなりました。土地購入の名義人が会長の茂氏であると、社長の忠雄氏が述べておられるのです。普通は当然、社長名義で購入したでしょう。父を思う孝行の気持ちがあふれるばかりです。

工場の建つ比江山からは、久礼田地区が眼下に広がっています。私には、社長の忠雄氏、二男の俊雄氏、三男の和雄氏、四男の幸雄氏が年老いたご両親の手を引いて、比江山から久礼田地区を眺めて談笑されている様子が目に浮かびます。正に一幅の名画と言えるでしょう。

工場進出といえば、とかく経済的な面ばかりが論議の的になります。『カシオ計算機』が来れば高知県、南国市は経済的に大いに潤うことでしょうが、会長樫尾茂氏を中心とするご一家の円満さを学ぶことも、経済面に負けず劣らず大きいだろうと、私は確信します。

また、今回の進出は、地元久礼田地区の人々の熱意をくんでのことと聞きます。ご一家の郷里を思う心、なんとも言えないさわやかな気持ちになるのは、私一人ではないはずです。

香我美町徳王子の三菱電機、南国市のカシオ計算機が予想以上の成果を上げれば、他の大企業も高知県に目を向けることでしょう。高知県は企業らしい企業もありませんが、汚れていない処女地とも考えることができます。我々県民も大いに協力して、成果を上げていただきたいと思います。

新聞によると、中内知事、小笠原市長、岡崎議長も同席して土地購入を決めたと出ています。このような記事がたびたび新聞紙上に載るよう願ってやみません。

（おわり）

土佐まほろばのみち

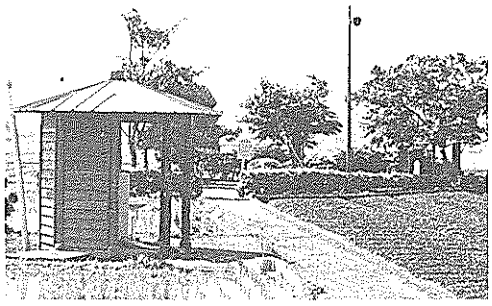
紀貫之邸跡北側に公衆便所が完成

市内には数多くの史跡があり『土佐のまほろば』を自負しています。

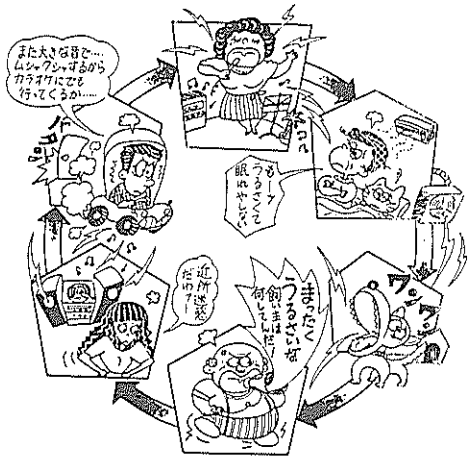
なかでも国府地区は、国分寺、国衙跡（律令制下の政庁）、比江廃寺塔跡などの重要な史跡があり、「土佐まほろばのみち」として、歴史探訪には欠かせない主要ルートで、見学者が絶えません。

そこで、市教育委員会では史跡整備の一環として、紀貫之邸跡の北側に公衆便所を建設、このほど完成しました。外観も史跡地にふさわしいと好評です。

市教育委員会では「見学者の便宜を図り、環境の保全や貴重な文化財の保護に役立てば」と話しています。



完成した公衆便所（後方は紀貫之邸跡）

『環境週間』6月5日～11日

あなたも"騒音点検"を！